



## 平成22年度 教育力向上福岡県民運動優秀実践校等表彰 今年度被表彰校を10校決定

今年度から、さらなる積極的な活動を促すとともに、教育力向上福岡県民運動がより一層広がることを目的として、「福岡がめざす子ども」を育てる6つのアクションプランに掲げる取組が優秀と認められる学校等を表彰することとしました。今年度は10校の表彰を決定しました。

### 春日市立 日の出小学校

学校・家庭・地域の三者が「共育」するコミュニティ・スクールの取組



「花いっぱい運動」：地域の方々と一緒に花を植える

本校では、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を活用した様々な教育活動を展開しています。コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営や教育活動などの充実を図っています。主な取組として、家庭学習の定着を図るため、教科毎の学習の仕方や5行日記を取り入れた「日の出っ子ノート」の活用。家庭と連携して、毎月1回1週間を通して“早寝・早起き・歯磨き・朝ご飯”を徹底し、基本的な生活習慣の定着を図る「キラキラ週間」。地域で心を育む「花いっぱい運動」などを行っています。これにより、子どもの学習意欲の高まりや、前向きに生活を向上しようとする態度が養われています。

### 糸島市立 南風小学校

くぐぐん・にこにこいきいきの花満開の学校の創造



地域の人と一緒に雷山川を調査する5年生児童

本校では、校区32団体(各行政区組織、PTA、育成会他)からなる「南風校区運営委員会」とともに様々な取組を行っています。主な取組として、保護者や地域住民の授業参加をカリキュラム化して行う授業の実施。3大行事「スポーツイン南風」、「南風校区夏祭り」、「南風校区文化祭」などを行っています。これにより、住民の多くが校区の子どもや学校を身近で大切な存在と感じています。その中で成長する子どもは、地域に愛着をもち、南風校区に誇りをもつようになるとともに、問題意識をもって意欲的に学習したり、粘り強く追求したりする力(くぐぐんの花)、思いやりの心や共に活動する喜びを感じる心(にこにこの花)、主体的に取り組み、責任をもって生活する力(いきいきの花)が育まれています。

### 芦屋町立 山鹿小学校

地域とともに、「浜運動会」



「浜運動会」の一番の呼び物である1年生の相撲

「浜運動会」は、明治37年に地域の神社の豊漁祈願大祭の催しとして、学校や地域住民をあげて浜辺で運動会を行ったことが始まりと伝えられる伝統的な学校行事です。その後、大正12年に福岡県から優秀な学校に贈られる「旌表旗」(せいひょうき)を受領し、このことを祝う歌を歌いながら、校区内を行進するようになりました。この伝統は今日まで受け継がれ、本校では、秋の体育大会とは別に、毎年5月に「浜運動会」として実施しています。主な取組として、全校児童が鼓笛演奏して歌いながら、学校から会場の浜辺までの約4km行進した後、一番の呼び物である1年生の相撲をはじめとする運動会を実施しています。これにより、子どもの郷土を愛する心やたくましい心身が育まれています。

### 久留米市立 浮島小学校

浮島っ子農業体験学習



発表会の様子

本校では、年間を通した農業体験活動を行っています。主な取組として、春には、保育園と合同でリレーや綱引きなどを行う「どろりんピック」や「粃蒔き・田植え体験」。夏休みには、公民館に宿泊し、地元の特産品である城島瓦粘土を使っての鬼瓦づくりや稲の育ちについて学ぶ「農業宿泊体験学習」。秋には、子どもたちが育てた餅米を収穫し、ついた餅を日頃お世話になっている方々や独居老人の方々に手紙を添えて配りました。また、城島食育祭りでは、子どもたちが1年間の農業体験学習の成果について、劇を交えながら発表しました。これにより、家庭や地域全体で子どもたちを育てていこうという大人の意識が高まるとともに、子どもの地域を愛する心や、規律と思いやりの心が育まれています。

### 朝倉市立 杷木中学校

読書活動を中心にした「心づくり」の取組



図書委員による本の紹介の様子

本校では、年間を通した読書活動を行っています。主な取組として、「全校一斉朝読書」を行っています。水を打ったように静まりかえった中で行われる朝読書には、参観された方々からの感銘の言葉をいただいているほどです。また、生徒会の図書委員や教職員による「読み聞かせ」などを行っています。さらに、保護者との連携による“新”家庭教育宣言では、杷木中宣言項目「親子で読書しよう」に取り組んでおり、親子のふれ合いや対話を進めるための良い機会となっています。これにより、昨年度の生徒1人あたりの年間読破ページ数が5,526ページに達するとともに、朝読書後の落ち着いた環境のまま1校時目からの学習に取り組めるという効果から、生徒の集中力や学ぶ意欲の高まりが見られます。

### 八女市立 星野小学校

お茶体験



全校児童でのお茶摘み

本校では、星野村で生まれ育つ児童に、地元のよさに気づき誇りを持ってほしいという願いを込めて、地元の特産品である「お茶」に関する年間を通した体験学習を行っています。主な取組として、地域の方から茶畑の提供を受け、保護者や上級生の指導による全校児童の縦割り班での「お茶摘み体験」。お家元によるお茶の作法の指導を受け、茶道の心に触れる「茶道子ども塾」。5年連続玉露づくり日本一の方をゲストティーチャーに招き、お茶づくりに携わる星野村の人々の様々な工夫や努力、思いを子どもに伝える社会科の学習などを行っています。これにより、子どもの学ぶ意欲が向上し、茶道を通じて、あいさつの意味や仕方を学んだことで、あいさつを家庭で実践するなど規範意識の高まりが見られます。

### 田川市立 金川小学校

金川の教育コミュニティづくり



まつり金川(1200人が集まります)

本校では、人と人との豊かなつながりや温かい心を育むとともに、学習意欲を向上させる取組を行っています。主な取組として、学力の土台となる就学前の体験の充実を図るため、遊びを通して数や言葉にふれさせる保育プログラム「わくわくドッキリDAY」の保小での実施。保護者を学校に招き、「ほめてもらいたいことを・ほめてもらいたい人から・ほめてもらいたいとき」にほめることで、子どもの学習意欲が高まることを理解していただき、保護者に学習に関わってもらおう「学習応援団」。“子育て”をキーワードに学校と地域が合同で実施する「まつり金川」などを行っています。これにより、子どもとの関わりは地域の大人の活力となるとともに、子どもの自尊感情が高まり、何事にも意欲的に取り組もうとする態度が育まれています。